



認知症

9月は「世界アルツハイマー月間」です！

9月21日は「世界アルツハイマーデー」

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。

また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っています。これを機会に認知症に対する知識を増やしてみませんか。

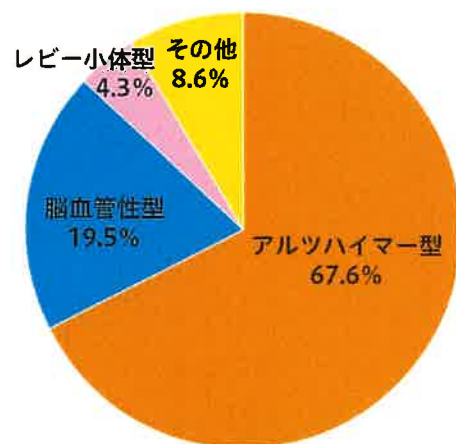


認知症

「アルツハイマー」とは・・・

数ある認知症の種類のうち、主なものは「4大認知症」と呼ばれ、アルツハイマー型・レビー小体型・脳血管性・前頭側頭型を指します。そのうちの約7割弱を「アルツハイマー型認知症」が占めています。

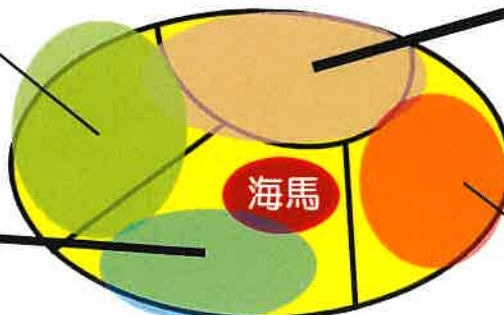
「アルツハイマー型認知症」とは、脳に異常なたんぱく質が溜まって、神経細胞が破壊され、脳が委縮して起こる認知症です。記憶を司る海馬、側頭葉や、頭頂葉から委縮するので、記憶障害や体性感覚の低下が目立ちます。



前頭葉：委縮すると、我慢することができなくなる

側頭葉：記憶する・言葉を理解する
委縮すると、物忘れがひどくなる

【脳のイメージ図】



頭頂葉：感覚や空間を認識する
委縮すると転びやすくなる

後頭葉：委縮すると、幻視があらわれる

ウラ面もご覧ください

サポーター 養成講座

認知症サポーター養成講座を開催しました！！

7月29日(木)に北見市老人いこいの家で、「認知症サポーター養成講座・あったか見守り声かけ体験会」を開催しました。

北海道常呂高等学校の生徒5名が学校設定科目「地域実習」のひとつとして参加していただいたのを含め、全員で12名が受講。そのうち10名が初参加でした。

前半の「認知症サポーター養成講座」では、「アルツハイマー型認知症」を含む認知症の症状や接し方などを学びました。後半の「あったか見守り声かけ体験会」では、実際に市街地に出て、認知症役に扮した協力者に声を掛ける体験をしました。

参加者からは「認知症の方の考え方や行動が理解できてよかった」「今後、もし認知症の人にあった時にどのようにしたらいいか知れてよかった」などの意見をいただきました。

炎天下の中ではありませんでしたが、参加者の皆様、協力者の方々、大変お疲れ様でした。

来年度も今回と同時期に開催予定ですので、皆さまの参加をお待ちしております。



認知症図書

認知症図書コーナーの設置！！

9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせて、「北見市立常呂図書館」のご協力により、今年も認知症図書特集コーナーを設置します。

現在、全国の65歳以上の高齢者のうち約7人に1人は認知症で、2025年には5人に1人が認知症になるといわれています。

高齢者の方には、認知症の発症を防ぐ(遅らせる)ため、「生活習慣病の予防」や「運動習慣の見直し」、「積極的な社会参加」を促しています。

高齢者の方に限らず、より多くの方が認知症に対しての知識を得ることにより、皆様が助け合い、住みやすい地域になることが求められています。

この機会にご自身で知識を深めてみてはいかがでしょうか。

9月 1日(水)～14日(火) 北見市立常呂図書館
9月15日(水)～27日(月) 常呂総合支所1F 市民サロン
にて展示いたします。ぜひお立ち寄りください。

認知症図書特集コーナー

9月は世界アルツハイマー月間

9月21日は世界アルツハイマーデー

認知症への正しい理解がすすむことを目的に、世界中で啓発活動を行っています
認知症に関する図書の展示(貸出)スペースを設置します。ぜひ、ご来場ください。

その他、パンフレット等もご自由にお取りください。

9月 1日(水)～14日(火)北見市立常呂図書館特設コーナー

9月15日(水)～27日(月)常呂総合支所1F 市民サロン

(図書・貸出に際しのお問い合わせ)
北見市立常呂図書館
北見市常呂町字常呂323
(0152)54-1215

(認知症・介護に関するお問い合わせ)
高齢者福祉交流センター常呂
北見市常呂町字常呂332番地2
(0152)63-2026



お知らせ(事業予定)

○認知症図書展示

○いこい茶房

○いこい茶房

※新型コロナウイルスに関する地域情勢等により中止となる場合があります。

とき： 9月 1日(水)～9月27日(月)

とき： 9月16日(木)午後1時30分～

とき： 10月14日(木)午後1次30分～

北見市立常呂図書館・常呂総合支所

老人いこいの家

老人いこいの家